

(様式3)

## エコチャレンジイベント実施報告書

報告日

年 月 日

(提出先)

川越市長

川越市エコチャレンジイベントの認定を受けた下記のイベントについて、その実施状況を報告します。

### 記

イベント名			
イベントで特に力を入れた環境にやさしい取組			
開催日	年	月	日 ~ 年 月 日
環境配慮	環境配慮点	点	
	環境配慮率	%	
主催者			
来場者の数	人		
備考欄			

### 2. 添付書類

- (1)実施状況を記入したエコチャレンジイベントチェックシート(様式4)
- (2)イベントの概要を記載したもの(広報用チラシ等)
- (3)会場写真(イベントの様子がわかるもの)
- (4)環境配慮の取り組みがわかる写真

エコチャレンジイベント チェックシート(報告)

イベント名	
-------	--

チャレンジする予定のものには、枠の中に**数字の「1」**を半角で入力してください。  
 チャレンジしない予定のものには、枠の中に**数字の「0」**を半角で入力してください。  
 チャレンジしたくてもできないものには、枠の中に**何も書かない**でください。

イベントを企画するとき

- 1 環境にやさしい活動について、企画時から終わりまで管理するスタッフをおく。
- 2 イベントを開催する前に、イベントが環境に与える影響について、考える。  
 たとえば、印刷物をつくると…紙資源をつかう  
 音響機器を使うと…騒音を出す  
 自動車を使うと…ガソリンをつかい、排気ガスを出す  
 使い捨て容器をつかうと…ごみが出る
- 3 環境について勉強できるコーナーをつくる。
- 4 有機栽培農産物を売る。
- 5 近くで採れた農産物を売る。
- 6 リサイクルマーケットをひらく。
- 7 公共の交通機関が利用できるようなイベント会場を選ぶ。
- 8 ポスターやチラシなどで、徒歩や自転車、公共の交通機関を利用して来場するようにお願いする
- 9 公共の交通機関が使えない場合は、シャトルバスなど、代わりになるものを用意する。
- 10 交通規制、路上駐車防止、駐車場の手配などをして、混雑をおこさないようにする。

イベントの準備をするとき

- 11 生態系を壊さないように気をつける。例)木を折らない。野生の生き物にエサをあげない。
- 12 景色を壊さないように気をつける。例)景色を壊すような看板をおかない。
- 13 スタッフに対して、開催前に、環境にやさしい活動の目的や内容を伝えて、行動するように指導す
- 14 関係する機関と十分に相談し、協力して、環境にやさしい行動をとる。
- 15 むだな物は買わずに、持っている物を使う。
- 16 機材は買わずに、レンタルする。
- 17 省エネルギー機器を使う。
- 18 宣伝には、紙ではなく、インターネットや電子メールなどの電子媒体を使う。
- 19 チラシ、ポスターなどの印刷物に「川越市エコチャレンジイベント」認定マークをつけて、  
開催するイベントが環境にやさしい活動をしていることを、参加者に知らせる。
- 20 チラシ、ポスターなどの印刷物には、古紙パルプが配合されている再生紙を使う。
- 21 チラシ、ポスターなどの印刷物には、大豆インク等のエコインクを使う。
- 22 チラシ、ポスターなどの印刷物は、必要な分だけ作る。
- 23 物を買うとき、売るときには、包装を簡単なものにする。
- 24 物を買うときには、グリーンラベル、エコマーク等のついた環境にやさしい物を買う。
- 25 イベント会場に分別集積場所(ごみステーション)を設置する。  
設置する場合は、次の表に設置する数を書いてください。

種類	設置する数
可燃ごみ	か所
びん	か所
かん・ペットボトル	か所
その他プラスチック 製容器包装	か所
紙パック	か所
新聞	か所
その他( )	か所

26 分別集積場所(ごみステーション)を定期的にチェックする人を決める。

※ 出展者・出店者に、以下のことを事前に呼びかけるかどうか。

- 27 むだな物は買わずに、持っている物を使うこと。
- 28 機材は買わずに、レンタルすること。
- 29 チラシ、ポスターなどの印刷物には、古紙パルプが配合されている再生紙を使うこと。
- 30 チラシ、ポスターなどの印刷物には、大豆インク等のエコインクを使うこと。
- 31 チラシ、ポスターなどの印刷物は、必要な分だけ作ること。
- 32 物を買うとき、売るときには、包装を簡単なものにする。
- 33 物を買うときには、グリーンラベル、エコマーク等のついた環境にやさしい物を買うこと。
- 34 照明は、自然光を利用し、必要な部分だけで使うこと。
- 35 空調の設定温度は、冷房28℃、暖房19℃に設定すること。
- 36 電気、ガス、水などを大切に使うこと。
- 37 駐車場でアイドリングをしないこと。
- 38 使い捨て容器の弁当を買わないこと。
- 39 マイバッグ(買い物袋)、マイ食器を使うこと。
- 40 紙コップのかわりに、グラスや湯飲み茶碗などを使うこと。
- 41 牛乳びんなどのリターナブル容器(洗って繰り返し使える容器)を使うこと。
- 42 ごみを分別すること。
- 43 ごみを持ち帰ること。
- 44 売れ残りの品は、出店者が持ち帰ること。
- 45 使い終わった容器は、納入業者に引き取ってもらうこと。
- 46 いらなくなったチラシ、ポスターなどの印刷物は、持ち帰ってリサイクルすること。
- 47 パイプや木材などの建設資材を再利用できるようにすること。
- 48 缶、ペットボトルは、リサイクルセンターに運ぶこと。
- 49 イベントが終わったら、会場内、駐車場、周辺道路などを清掃すること。

#### イベントを開催しているとき

- 50 使い捨て容器の弁当を買わない。
- 51 主催者、関係者が会場に行くときは、公共の交通機関を使うか、乗合をする。
- 52 自転車や公共の交通機関、低公害車を使う人を有利にする。
- 53 低公害車を使う。
- 54 会場の入り口が混雑しないように、案内人をおく。
- 55 駐車場に誘導員をおく。
- 56 駐車場でアイドリングをしないように、呼びかける。
- 57 拡声器や発電機などの機器を使うときは、周辺に迷惑をかけないように気をつける。
- 58 臭いが出る時は、周辺に迷惑をかけないように気をつける。
- 59 照明は、自然光を活用し、必要な部分だけで使う。
- 60 空調の設定温度は、冷房28℃、暖房19℃に設定する。
- 61 電気、ガス、水などを大切に使う。
- 62 デポジット制度を使って、容器の回収をする。
- 63 マイバッグ(買い物袋)、マイ食器を使う。
- 64 紙コップのかわりに、グラスや湯飲み茶碗などを使う。
- 65 牛乳びんなどのリターナブル容器(洗って繰り返し使える容器)を使う。
- 66 ポイ捨てをしないように呼びかける。
- 67 歩きタバコをしないように呼びかける。
- 68 ごみを家まで持ち帰るよう、来場者に呼びかける。
- 69 このイベントが「川越市エコチャレンジイベント」に認定されていて、環境にやさしい活動をしていることを、放送で来場者に伝える。

### イベントが終わったら

- 70 イベントが終わったら、会場内、駐車場、周辺道路を清掃する。
- 71 交通案内板を回収する。
- 72 使い終わった容器は、納入業者に引き取ってもらう。
- 73 野外で土地に手を加えたときは、元に戻す。
- 74 生ごみを堆肥にする。
- 75 パイプや木材などの建設資材を再生利用できるようにする。
- 76 ユニフォームを再使用する。
- 77 ごみを委託で処分する場合は、伝票などを使って、適正に処理されたかを確認する。
- 78 リサイクルする量とごみの量を把握する。

種類	リサイクルする量	ごみの量	もっていくところ
可燃ごみ	kg	kg	
びん	kg	kg	
かん・ペットボトル	kg	kg	
その他プラスチック製 容器包装	kg	kg	
紙パック	kg	kg	
新聞	kg	kg	
ダンボール	kg	kg	
不燃ごみ	kg	kg	
雑がみ(雑誌、包装紙、空き箱など)	kg	kg	
その他( )	kg	kg	

- 79 イベントが終わったら、問題点や改良点について話し合う。

結果は・・・？



このイベントの環境配慮点	点
このイベントの環境配慮率	%

#### 提出方法

- ① 窓口持ち込み
- ② 郵送またはFAX
- ③ 電子申請(アドレスを添付)

#### 提出先

川越市役所 環境部 環境政策課 地球温暖化対策担当

〒350-8601

住所: 川越市元町1-3-1

電話: 049-224-5866

FAX: 049-225-9800

Mail: [kankyoseisaku★city.kawagoe.lg.jp](mailto:kankyoseisaku★city.kawagoe.lg.jp)

(@の部分を★と表示しています。)

